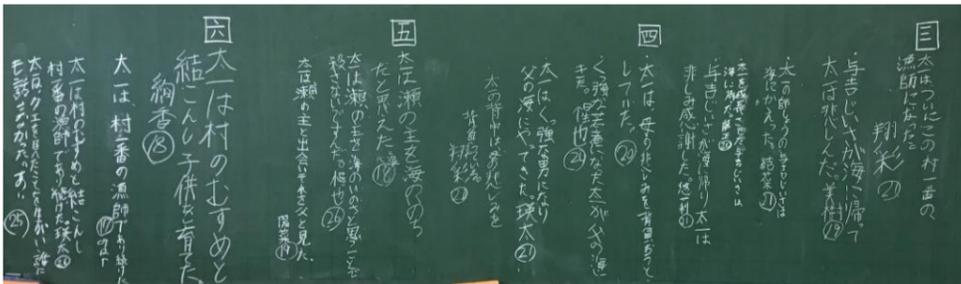
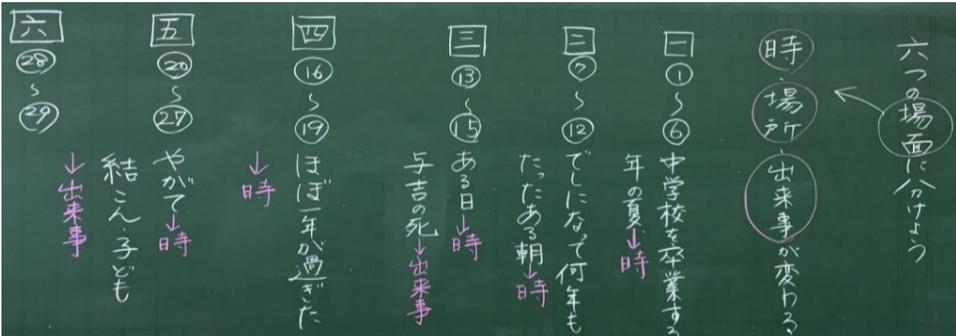
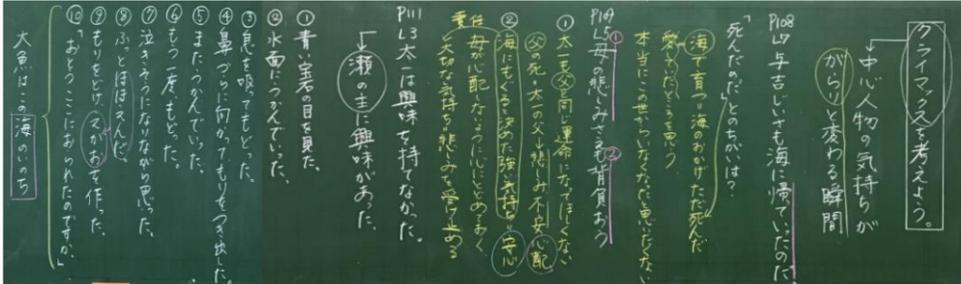
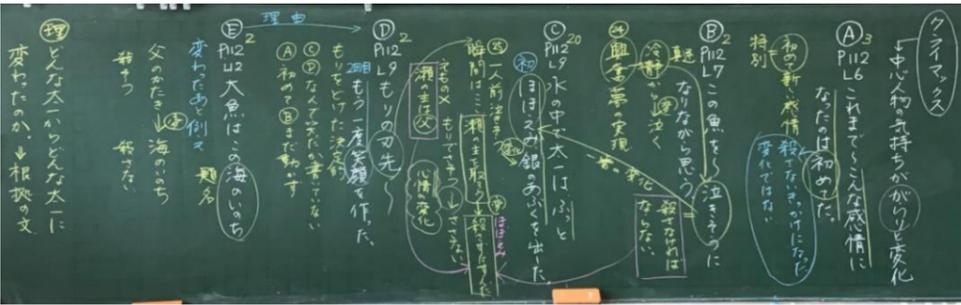
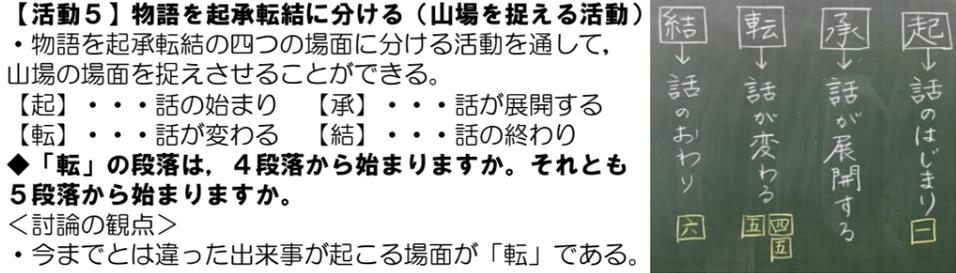
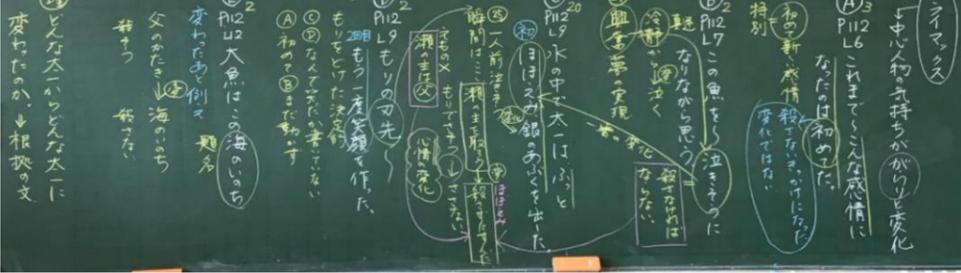
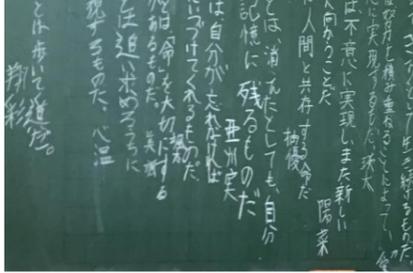


【国語編】小学校学習指導要領解説—第2章国語科の目標及び内容—3〔思考力、判断力、表現力等〕の内容—C読むこと—「読むこと」の指導事項より学習過程及び指導事項の抜粋—第5、第6学年における「文学的な文章」

- **構造と内容の把握**（叙述を基に、文章の構成や展開を捉えたり、内容を理解したりすること）
 - イ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。
- **精査・解釈**（文章の内容や形式に着目して読み、目的に応じて必要な情報を見付けることや、書かれていること、あるいは書かれていないことについて、具体的に想像すること）
 - エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。
- **考えの形成**（文章の構造と内容を捉え、精査・解釈することを通して理解したことに基づいて、自分の既有的知識や様々な体験と結び付けて感想をもったり考えをまとめたりしていくこと）
 - オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。
- **共有**（文章を読んで形成してきた自分の考えを表現し、互いの考えを認め合ったり、比較して違いに気付いたりすることを通して、自分の考えを広げていくこと）
 - カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。



構造と内容の把握	精査・解釈	考えの形成	共有
<p>【活動2】設定を捉える（作品全体の設定を捉える活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時や場所、登場人物などについて文章から正確に読み取ることができるようにする。 ◆登場人物は誰ですか。 <ul style="list-style-type: none"> ・「登場人物とは、演劇などの時に舞台上で演技をする人、物、動物のこと」などの定義を示す。 ◆中心人物は誰ですか。 <ul style="list-style-type: none"> ・「中心人物とは、作品を通して、心情ががらりと変化する登場人物のこと」などと定義を示す。 	<p>【活動4】物語を要約する（段落ごとの内容を大まかにつかむ活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語を要約するという目的に向かって、必要な情報を正確に取り出すことができるようにする。そのために、次のようなステップで指導する。 ①段落ごとのキーワードを共有◆この段落での大切な言葉は何ですか。三つ選びます。 ②キーワードを用いて要約◆キーワードを使って、20文字程度で要約します。 ③児童の要約文を黒板に書かせる。（下写真） 	<p>【活動8】主題を検討する（作品が、読者に訴えかけるものを捉える活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題を「作品を通して、作者が読者に最も伝えたかったこと」と定義する。 ・身近な事に置き換えて考えさせるのも良い。 次のようなステップで指導する。 ①主題の書き方の文型を示す。例) ○○とは、〜〜なものだ。 ②○○に当てはまる言葉を考えさせる。 ◆○○には、どのような言葉が当てはまると思いますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・○○に当てはまる言葉は、この物語全体のテーマである。 例) 命、夢、海、人生、成長・・・ ・これらが児童のヒントになる。この発問で挙がった意見のみではなく、主題を考える上で生まれた意見でも良いことを伝える。 ③20文字程度でノートに書かせる。 ④児童の考えた主題を黒板にも書かせる。 ⑤そう考えた理由をこれまでの学習を生かしてまとめさせる。 ◆その主題を考えた理由は何ですか。 <ul style="list-style-type: none"> ・理由を交流し、最後に感想を書かせることで、自分の考えを更に深めることにつながる。 	<p>【活動1】初読の感想を交流する（物語を読んだ感想を共有する活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸読の感想を交流することにより、他者の感じ方や考え方に触れる機会を設ける。 ◆「海のいのち」を初めて読んで、感じたことや疑問に思ったことをノートに書きます。 ・児童の感想は、これからの授業展開を考える上でも参考になる。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">児童の変容 読取りの深まり 読解力の向上</p>
<p>【活動3】構成を理解する（作品全体の構成を捉える活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成を捉えることで、出来事と出来事のつながりを大まかに捉えることができるようにする。 ◆この作品を、六つの意味段落に分けます。 ・時間、場所、出来事が変わった時に、段落が変わるという分けのために観点を示す。 	<p>【活動6】焦点を絞った読取り（主題にせまるための重要な出来事を捉える活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山場の場面までの大-1の成長を表現する重要な場面を読み取る。 ◆「海に帰っていった」と「死んだ」とではどう違いますか。 ◆母の悲しみとは何ですか。◆「母の悲しみをも背負う」とはどういうことですか。 	<p>【活動7】クライマックスを読み取る（中心人物の心情の変化を読み取る活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クライマックスを「中心人物の心情ががらりと変わった瞬間」と定義する。 ・どんな大-1からどんな大-1に変化したのか、それはどの文章表現を根拠にしているのか、自分の考えをはっきりとさせる。 ◆クライマックスはどこですか。＜討論の観点＞大-1の心情の大きな変化があるか。 	<p>【活動9】これまでの学習から学んだことを交流する（物語の読取りから形成された自分の考えを表現したり、他者と比較したりする活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの他者の感じ方や考え方に触れることを通して、更に自分の考えを深めることにつながる。 ◆「海のいのち」の学習を通して、どのようなことを学びましたか。 ・どのような観点で書くのかを示す。例) 大-1の生き方、情景描写や人物描写などの文章表現、クライマックスに関すること・・・など
<p>【活動5】物語を起承転結に分ける（山場を捉える活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語を起承転結の四つの場面に分ける活動を通して、山場の場面を捉えさせることができる。 【起】・・・話の始まり 【承】・・・話が展開する 【転】・・・話が変わる 【結】・・・話の終わり ◆「転」の段落は、4段落から始まりますか。それとも5段落から始まりますか。 ＜討論の観点＞ ・今までとは違った出来事が起こる場面が「転」である。 	<p>【活動8】主題を検討する（作品が、読者に訴えかけるものを捉える活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題を「作品を通して、作者が読者に最も伝えたかったこと」と定義する。 ・身近な事に置き換えて考えさせるのも良い。 次のようなステップで指導する。 ①主題の書き方の文型を示す。例) ○○とは、〜〜なものだ。 ②○○に当てはまる言葉を考えさせる。 ◆○○には、どのような言葉が当てはまると思いますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・○○に当てはまる言葉は、この物語全体のテーマである。 例) 命、夢、海、人生、成長・・・ ・これらが児童のヒントになる。この発問で挙がった意見のみではなく、主題を考える上で生まれた意見でも良いことを伝える。 ③20文字程度でノートに書かせる。 ④児童の考えた主題を黒板にも書かせる。 ⑤そう考えた理由をこれまでの学習を生かしてまとめさせる。 ◆その主題を考えた理由は何ですか。 <ul style="list-style-type: none"> ・理由を交流し、最後に感想を書かせることで、自分の考えを更に深めることにつながる。 	<p>【活動9】これまでの学習から学んだことを交流する（物語の読取りから形成された自分の考えを表現したり、他者と比較したりする活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの他者の感じ方や考え方に触れることを通して、更に自分の考えを深めることにつながる。 ◆「海のいのち」の学習を通して、どのようなことを学びましたか。 ・どのような観点で書くのかを示す。例) 大-1の生き方、情景描写や人物描写などの文章表現、クライマックスに関すること・・・など 	<p>【活動9】これまでの学習から学んだことを交流する（物語の読取りから形成された自分の考えを表現したり、他者と比較したりする活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの他者の感じ方や考え方に触れることを通して、更に自分の考えを深めることにつながる。 ◆「海のいのち」の学習を通して、どのようなことを学びましたか。 ・どのような観点で書くのかを示す。例) 大-1の生き方、情景描写や人物描写などの文章表現、クライマックスに関すること・・・など 

主な学習活動及び授業の展開

◆発問や指示・指導上の留意点

学習活動の基盤となる国語科における基礎的な学力の育成（帯活動として、授業時間の中で、年間を通して継続的に行うこと）授業を通して、基礎的な学力を身に付けさせていく工夫をする。

- **漢字指導** 漢字の読み書きに関する指導。市販の漢字スキルを活用し、①漢字の読み方 ②熟語の読み方 ③漢字の書き方（指書き、なぞり書き、写し書き）をし、家庭での漢字書き取り練習へとつなげる。
- **語彙指導** 辞書引き指導。説明文、物語文に掲載されている難語句に関して、朝学習の時間などに調べる。授業の中では、その語句が登場した時に、再確認する。フラッシュカードを用いた語彙指導。授業の中で、「ことわざ」「四字熟語」「間違えやすい表記」「同訓異字語」についてのフラッシュカードを扱い、語彙力を高める活動を行っている。
- **音読指導** 授業で扱った詩や教師が選んだ名文を暗唱させる指導。暗唱をさせるまでに、様々な音読のバリエーションで何度も音読することを通して、文章をすらすらと適切な声量で読めるように指導する。
- **伝統文化** 百人一首の指導。伝統的な文化や歴史的仮名遣いに日常的に親しむことを目的とした指導。かるたを通して、記憶力を高めることにもつながる。